

平成 28 年 10 月 21 日

副校長 北村 雅之先生

家庭教育学級 C 班リーダー  
向井 麻美

### 第 3 回家庭教育学級講演会実施報告書

日時 平成 28 年 10 月 7 日 (金) 10:00 ~ 11:30  
会場 桜丘小学校 開放ミーティングルーム  
テーマ 『子供と保護者が共に成長しあう良い関わり方とは何かを学ぶ』  
講師 池尻かもめ保育園 園長 吉澤隆幸先生  
参加者 社会教育指導員 藤本仁様  
桜丘小保護者 21 名 (内、文化厚生委員 8 名)  
内容 子供の気になる行動や言葉に対して、保護者は子供とどのように接するのが望ましいのかを解説していただきます。豊富な保育士経験や高校生、大学生の二人のお子様を持つ父としての視点から、音楽や歌を交えて子育てのヒントを楽しくお話ししていただきます。

参加者アンケート集計 (回答数 18)

#### 《感想》

- ◆ 日々の生活の中で子供との関わりを改めて考え見直すことを学べました。子供から出てくる言葉を待つこと聞くことを今日から心がけたいと思いました。子育てを楽しくできたらと思いました。
- ◆ 「待つ」「信じる」といった少し時間のかかることがなかなかできない時代になったと思います。今日のお話が日々の役に立てばよいなと思います。
- ◆ 一時間半あっという間でした。NG ワードやってるな…と反省です。
- ◆ 「待つ」子供のためと思って色々先回りしている事、身をもって行動してしまっている自分がよく分かりました。最後の歌も素晴らしくとても良い機会をありがとうございました。
- ◆ 高学年になると先のことばかり心配し悩む毎日ですが、生まれた頃や幼稚園の頃を思い出し、初心に戻れた様な気がします。
- ◆ 無意識に子供に良かれと思ってしている事が子供の自主性を奪っていることを意識しながら子育てをしていきたいです。
- ◆ 素敵な歌声をありがとうございました。「待つ」ことを心がけていきたいです。
- ◆ 「目を見て話す」「待つ」ということはなかなか実践できてなかったように思います。「栄養」「笑う」「外遊び」を心に留め、日々の子育てをしていきたいです。
- ◆ 子供によく口を出してしまうので、これからは少し待つようにしたいと思います。
- ◆ 目を合わせる事が大事ということが改めて感じました。子供の成長は自分の成長でもあることを意識しながらまた子育てに励みたいと思います。
- ◆ 話の聞き方やふれあうことの大切さなど年齢に関わらず心に残る話が聞けました。歌も素敵でした。
- ◆ 言葉に表れない部分を重要視するという考えにはっとさせられました。子供の話を聞いていねいに聞くと同時に、ふれあい遊びの時間もちゃんと大切にしていきたいです。
- ◆ 子供の話の先取りをしないという話を聞いて、いつもしてしまっていると反省しました。家で遊ぶことが多いので外に連れ出そうと思いました。
- ◆ 子育てのことを再度考えるきっかけになりました。とてもいいお話、歌を聞いて心があたたまりました。

- ◆ 「待つことが大切」という言葉が響きました。ちゃんと向き合って触れ合って共感しあう時間を過ごしていかなくてはと思いました。
- ◆ 改めて考えさせていただく時間になりました。気持ちを新たに待つ子育てをしていきたいと思います。
- ◆ 先生ご自身の経験を通してのお話を聞いてとてもためになりました。また素敵な歌を聞くことができてとても良かったです。
- ◆ 子育ての悩みがつきないので、今後の参考になりました。

多かった感想 → ◇今後の子育てに役立つ内容だった。  
 ◇理解しているつもりがなかなか実践できてないことに気付かされた。  
 ◇歌が素敵だった。

#### 《考察》

- ◇ 感想にもあるように大変ためになる内容であるため再度開催が望まれる。
- ◇ 参加者へ申し込み後に集合時間を明記した確認書を配布したため、遅れて参加された方は少なかった。
- ◇ 参加者は21名と多くなかったが、講習を行う上では適切な人数であった。
- ◇ テーブルと椅子を移動させる必要があったが、講習終了後は参加者に手伝っていただき、ごく短時間で元に戻すことができた。参加者以外の文化厚生委員のお手伝いを依頼しなくても、問題はなかった。